



「立志式」 これまでお世話になった地域の方々を
招いて、感謝の気持ちが伝わる会をひらこう。

「義務教育が終了し、それぞれが希望する進路を選択しそれぞれの人生を歩んでいく。中学卒業とは人生の節目である。」

あと三ヶ月で中学卒業を迎える三年生が、「ドリームマップ等、お世話になった地域の方々に感謝の気持ちが伝わるような会を開き将来に向けて決意を述べよう」と、今回の企画を計画しました。企画・運営・おもてなしにいたるまで、全て自分たちで取り組んできました。

お客様にアポイントをとり、玄関で迎え、感謝の気持ちを述べる。朝から地域の方々に郷土料理「八寸」を習い、一緒に料理をしている姿、全てが微笑ましく感じました。そして、食事会。地域の方々・保護者・先生・生徒が和気あいあいと話をしながら会食をしていました。熊野東中学校ならではの、ほのぼのとした光景でした。



「私」

この人生は だれのものでもなく 私自身のものだから

自分の力で立ち 自分の力で歩いていきたい

一度しかないから だれにも任せられない 私が描く 自分自身の物語
まわりに流されそうになったり だれかに ふりまわされたり 投げやりになったり

そんなときは 心の声に耳をすますと 聞こえてくるんだ

私は どう在りたいか？ これは 在るべき姿なのか？

私は どう在りたいか？

**3年生は人生初めての岐路に立っている。今、自分自身の真価が問われている。
夢の実現に向けて投げ出さず、逃げ出さず、自分を信じて頑張れ！健闘を祈る！**